

# 受けて安心！がん検診！



島根県において“がん”と診断された方の約3割は、働き盛りの世代（20～64歳）です！  
また、がんは自覚症状がないまま進行していくため、早く見つけるには、定期的ながん検診を受けることが大切です。



## 肺がん検診

### ・一次検査の内容

検診票による問診と胸のX線撮影、必要に応じて痰の中に含まれる細胞を調べる喀痰細胞診検査を行います。

### ・精密検査の内容

胸部CT検査や内視鏡を気管に挿入して直接観察する気管支鏡検査等があります。

## 大腸がん検診

### ・一次検査の内容

検診票による問診と便潜血検査(2日法)です。がんによる出血の有無を調べます。

### ・精密検査の内容

内視鏡を挿入して直腸から盲腸までの大腸全部位を見る全大腸内視鏡検査、バリウムを用いて行う注腸X線検査があります。

## 胃がん検診

### ・一次検査の内容

検診票による問診とバリウムを飲んで行うX線検査や胃内視鏡検査があります。どちらの検査も一長一短があります。

### ・精密検査の内容

胃内視鏡検査にて行われます。



## 乳がん検診

### ・一次検査の内容

検診票による問診とマンモグラフィ検査(乳房X線検査)です。がん検診のほか、定期的にセルフチェックすることも、とても重要です。

### ・精密検査の内容

多方向から撮影するマンモグラフィ検査、乳房超音波検査、乳房MRI検査、乳房CT検査等があります。

## 子宮頸がん検診

### ・一次検査の内容

検診票による問診と視診、内診、子宮頸部の細胞診検査(子宮の入り口の粘膜をブラシで擦り採り、顕微鏡で細胞を確認する)があります。

あわせて子宮頸がんの原因となるHPV検査を受診することをお勧めします。

### ・精密検査の内容

子宮頸部の粘膜表面を拡大して観察する(コルポスコープ)検査等があります。

## 島根県環境保健公社からのメッセージ

がん検診(一次)は、「健康な人」と「少しでもがんの可能性が疑われる人」をふるい分けします。そのうえで必要に応じて精密検査や治療を受け、死亡率や罹患率を低下させることが目的です。精密検査にはがんの疑いを除去するためと、がんであることを確かめるという2つの意味があります。

がん検診(一次)の結果、精密検査が必要であるとされたら必ず受診して下さい。